

全会員用 大地震発生時の行動マニュアル・震度5強以上

| 目安時間 | 自助行動（家族含む） | 近助・共助（近隣から地域へ） |
|---|---|---|
| 発生 （激震数十秒） 3分程度 （一時収まったら） 30分程度 繰り返す地震に気がつけて | ① 自分の身を守る ② 火の確認と始末 ③ 家族の確認と安全確保（外出者はあとで確認） ④ 脱出口の確保 ⑤ 身体無事なら黄色「無事」ハンカチ掲出 ⑦ 自宅の被害状況把握 → 家族と安全な場所へ 危険なら屋外へ （危険：壁や柱のヒビや傾き・家基礎のずれ等） | ⑥ 近所へ声掛けと、周辺の被害状況把握 <ul style="list-style-type: none"> ・火災発生なら大声で知らせ消火 ・下敷き、閉じ込め等あれば救助、手当等 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">必要に応じ続ける</div> |
| | ⑧ 班集合場所へ集合 （非常持出し袋を持ち、ブレーカー落して） | ⑧ 班集合場所へ集合 （消火・救助の人以外）、班長の指示を待つ ⑨ 班長、協力者等の活動開始（安否確認・要支援者誘導） <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">詳細手順は、別表「班長・協力者用」を参照</div> <ul style="list-style-type: none"> ・班内の安否や被害状況を把握し、班長へ情報集約 ・集合場所や要支援者等の安全確保と誘導等 ⑩ 住民は協力し、班長要請等に基づき消火、救助、手当等を行う → |
| 1時間程度 | | ⑪ 防災本部（わさび田公園：以下本部）の設営立上げ（市へ報告も） <ul style="list-style-type: none"> ・各班の被害状況の集約と結果判断による減災行動等の指示 ⑫ 市や本部等指示で、 避難広場（わさび田公園）等へ移動 し、待機等 <ul style="list-style-type: none"> ・安否情報等を再確認し、安全確保して待機 ・班別防災隊員等を確認し、順次活動開始と継続 |
| 数時間～半日程度 | ⑬ 地域と自宅の安全性が確認できれば自宅へ （危険判断：火災等地域状況、家屋損傷状況等） | ⑬ 被害の程度に応じ、避難施設（小川高校）等へ移動 <ul style="list-style-type: none"> ・校庭にて点呼待機、体育館受入れ準備完了後、入館 |
| 半日～1日～ | | ⑭ 被害の程度に応じ、避難施設等での避難生活開始 <ul style="list-style-type: none"> ・避難施設運営委員会（学校と利用複数自治会）方針に従う ・他の自治会（防災隊等）との協力体制のもと活動 |

班長・協力者用

| 目安時間 | 班長・班長補佐（協力して、ことに当る） | 協力者（安否確認・連絡員、要支援者誘導員、応急手当員） |
|---------------------------|--|--|
| 発生（激震数十秒） | （自分の身を守る） | |
| 3分程度 （一時収まったら） | （火の始末・家族安全確保・脱出口確保） （黄ハンカチ掲出・自宅被害状況把握） （近隣への声掛け・周辺被害状況把握） （必要に応じ、近隣住民に消火や救助を指示、または参加） | |
| 30分程度 繰り返す地震に気がついて | ① 班集合場所へ集合（班長グッズ・個人非常持出し袋） ② 集合協力者等に順次活動指示（リスト・作業・範囲） ・安否情報や各種被害状況を得るため ④ 班長は、報告等による被害情報に基づき必要となる救助、消火等を住民に協力要請 ⑤ 班長は、被害状況等をまとめ、それを安否確認・連絡員に託し、本部への報告を指示 （新たな被害情報や支援要請も、その都度指示） | ① 班集合場所へ集合 ③ -1 安否確認・連絡員は、指定範囲を各戸調査し、班長へ安否情報・家屋等の被害状況を報告 ③ -2 要支援者誘導員は、要支援者宅を訪問して安否確認し、安全な所に誘導できたら、黄ハンカチを戸外に掲出し、（必要に応じ班集合場所に誘導）戻って班長に報告さらに相談の上、必要に応じてより安全な所へ誘導 ③ -3 応急手当員は、班集合場所に待機、必要に応じ手当 ⑥ 安否確認・連絡員は、班長指示を受け、本部へ被害情報等を報告（新たな報告や支援要請も、その都度本部へ） |
| 1時間程度 | ⑦ 市や本部の避難の指示や、班集合場所が危険な場合、班長は、住民へ避難広場（わさび田公園）等への移動を指示 ⑨ 避難広場にて班員確認後、本部と協力して班員のケアの指揮をとる（特に要支援者・負傷者・乳幼児等） | ⑧ 協力者は、班長の指示に基づく住民の避難広場（わさび田公園）等への移動を、協力して補助 （要支援者誘導員は、要支援者に十分な配慮をして付添う） ⑩ 避難広場にて待機し、班長に協力して班員をケア （特に要支援者・負傷者・乳幼児等へは、慎重に） |
| 数時間～半日程度 | （班別防災隊員の確認・順次活動開始と継続） （地域および自宅の安全性確認できれば自宅へ、被害の程度に応じ避難施設（小川高校）等へ誘導） | |
| 半日～1日～ | （被害の程度に応じ、自宅や避難施設等での避難生活開始） （避難施設では、避難施設運営委員会（学校と利用複数自治会）方針に従うが、自宅等との分散状況に応じた体制も構築） | |